

3. 各事務事業の評価結果

※各事務事業の評価内容については、P 6 以降に掲載

(「○」妥当である 「×」妥当でない ※分数は全委員のうち「妥当である」と評価した委員の数)

	①目的に対する手段	②活動指標	③成果指標	④方向性	⑤業務改善	⑥取組方針(改善方針)
広報事業	○ 6/6	○ 4/6	× 1/6	○ 6/6	○ 5/6	○ 3/6
徴税吏員催告徴収事業	○ 6/6	○ 4/6	× 2/6	○ 6/6	○ 6/6	○ 6/6
休日等サービス事業	○ 6/6	○ 6/6	○ 5/6	× 3/6 現状の規模で継続 ⇒縮小して継続	○ 6/6	○ 4/6
区長等支援事業	○ 5/6	× 2/6	× 1/6	× 2/6 現状の規模で継続 ⇒拡大して継続、 縮小して継続	× 0/6 改善の必要なし ⇒大幅に改善	× 1/6
庁舎維持管理事業	○ 6/6	× 2/6	× 1/6	○ 6/6	○ 4/6	○ 4/6
人材育成事業	○ 6/6	○ 5/6	× 1/6	○ 6/6	○ 5/6	○ 5/6
住民情報ネットワーク運営事業	○ 6/6	○ 4/6	× 1/6	○ 6/6	○ 6/6	○ 6/6
固定資産税(家屋)賦課事業	○ 6/6	× 2/6	× 1/6	× 2/6 現状の規模で継続 ⇒拡大して継続	× 2/6 改善の必要なし ⇒一部改善	○ 6/6

【評価の観点】

サンプル	総合計画 広報活動の充実	
事業名	広報事業	
根拠法令等	なし	
新規・継続	継続	事業開始年度 昭和3

①目的に対する手段
「成果目的」に対して、「事業内容」が妥当であるかどうか。

1. 事業の概要

【事業内容】

行政情報を提供するため、『広報あみ』通常版およびお知らせ版を毎月1回ずつ発行し、区長配布、ホームページで随時情報を更新している。

【成果目的】

市民が行政内容を把握し行政の実態を十分に理解するうえで、その判断資料とするべく、行政の情報を的確に提供する。

2. 活動指標と成果指標

指標名	単位	説明	H24	H25	H26	H27
			目標	実績	目標	目標
活動指標	広報あみ総ページ数	ページ (通常版) + (お知らせ版)	37	412		
成果指標	発行部数	部 全戸配布	16800	16800	17000	17000
			16700	1		

②活動指標
行政資源を投入して、どれだけの活動を行うのか、あるいはどれだけの行政サービスを提供するのを表す指標。
→その指標の設定、数値目標の設定が妥当であるかどうか。

③成果指標
行政活動の結果、「受益者」がどのような影響(成果)をどれだけ受けたかを表す指標。「事業目的」の実現状況を数値で測定するための尺度。
→その指標の設定、数値目標の設定が妥当であるかどうか。

3. 事業費の内訳とコスト分析

(1) 歳出内訳

H24年度(決算)	H25年度(決算)	H26年度(予算)
4,694,954	3,925,258	6,789,000

(2) 歳入

H24年度(決算)

歳入内容:

種別	金額	内容
消耗品費	82,886	広報編集用消耗品(プリンター)
印刷製本費	3,729,800	広報印刷製本委託料(毎年)
役員費	63,816	広報送付用郵便料(町外の)
使賃料	48,756	広報編集システム(平成21年)

④方向性、⑤業務改善、⑥取組方針(改善方針)
成果や事業費、事業における課題などを踏まえ、今後の予算・人的資源の方向性について検討し、担当課が記入。
→事業を的確に評価した上で検討されたものとなっているか、事業の成果や課題などを踏まえて判断が妥当であるかどうか。
方向性:「現状の規模で継続」、「拡大して継続」、「縮小して継続」、「休廃止」、「終了」、「他事業と統合」
業務改善:「大幅に改善」、「一部改善」、「改善の必要なし」

(3) 人件費(時間)

	H24年度		H25年度	
	時間数	人件費概算	時間数	人件費概算
正職員(時間内)	2,689	4,665,415	2,506	4,347,910
正職員(時間外)	173	375,064	97	210,296
臨時職員				
その他				
合計	2,862	5,040,479	2,603	4,558,206

計	9,735,433	8,483,464
町民1人当たり	約 203円	約 177円

4. 事業の方向性と取組方針(1次評価)

▼担当者記入

今年度中の改善計画
読みやすく、わかりやすい広報紙の紙面を作成する。年度当初から表紙のデザインを刷新する。今年度中に広報紙の全面リニューアルに向けた三ヵ年計画を策定し、各ページのデザインの見直しとページ数の削減を図っていく。

▼課長記入

(評価理由)

方向性	ネット社会が急速に拡大する中でも、紙ベースの広報が果たしている役割は大きいので、今後も継続していく必要があるから。
現状の規模で継続	
業務改善	広報は読まれなくては情報が伝わらないので、読みやすく、親しまれるようにするため、常に改善の努力をするべきであるから。
一部改善	
取組方針(改善方針)	町民への行政情報提供は不可欠なものである。現在担当2人で最小限のコストで広報紙作成、ホームページ運営を行っている。読みやすく、親しみのある紙面づくりに取り組んでいく。広報あみ通常版では、多い月には36ページ、平均では24ページとなっており、ボリュームが多過ぎる傾向にある。このため、手軽に読める紙面づくりを進めるため、情報を厳選してページ数の削減に取り組む。